

# 教育用NXTソフトウェアver2.0と 教育用NXTソフトウェアver2.1の違い

## ○免責事項

本資料に掲載する情報については、注意を払っていますが、その内容について保証するものではありません。株式会社アフレルは本資料の使用ならびに閲覧によって生じるいかなる損害にも責任を負いかねます。また、本資料の情報は予告無く変更される場合があります。

※各製品名及びサービス名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

※この資料は株式会社アフレルおよび記載の各者、各団体の著作、編集によるものです。無断転載、複製を禁じます。

作成日：2010/10/05

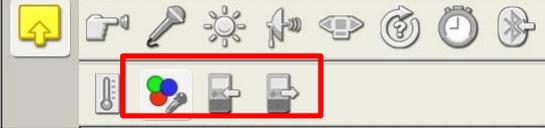
# 動作確認環境

(2010年10月05日現在)

- 動作確認をしたOS
  - Windows7 Professional 32bit版
- ソフトウェア
  - 教育用NXTソフトウェア ver2.0
    - 教育用NXTソフトウェア ver2.0のCD-ROMからインストールした場合のバージョンです。
  - 教育用NXTソフトウェア ver2.1
    - 教育用NXTソフトウェア ver2.1のCD-ROMからインストールした場合のバージョンです。

# 機能的な違い

教育用NXTソフトウェアver2.1では、新しいカラーセンサ、やエネルギーメータが使えるようになりました。

違い	ver2.0	ver2.1
<b>デスクトップアイコン</b> ※NXT2.1に変わります		
<b>動作アイコン</b> ※色ランプアイコンが増えます		
<b>センサアイコン</b> ※カラーセンサやエネルギーメータのアイコンが増えます		
<b>ヘルプ</b> ※色センサブロックなどの説明が増えます	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ センサブロック               <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ <a href="#">光センサブロック</a></li> <li>▪ <a href="#">NXTボタンブロック</a></li> <li>▪ <a href="#">メッセージ受信ブロック</a></li> <li>▪ <a href="#">(内蔵式)回転センサブロック</a></li> <li>▪ <a href="#">サウンドセンサブロック</a></li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ センサブロック               <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ <a href="#">色センサブロック</a></li> <li>▪ <a href="#">エネルギーメータ入力ブロック</a></li> <li>▪ <a href="#">エネルギーメータ出力ブロック</a></li> <li>▪ <a href="#">光センサブロック</a></li> <li>▪ <a href="#">NXTボタンブロック</a></li> <li>▪ <a href="#">メッセージ受信ブロック</a></li> </ul> </li> </ul>

# その他、改善されたこと

- 教育用NXTソフトウェアver2.0から以下の事象が改善されました。
  - プログラムをスクロールすると解放されていないメモリが消費され、パフォーマンスに悪影響を与えたり、ソフトウェアがクラッシュする原因となる。
  - 3つの「スイッチ」ブロックを1列に並べて、「水平図」チェックボックスをトグルすると、2番目のスイッチが3番目のスイッチと一部重なる。
  - 削除を実行し、「パック」と「ゴー」のファイルを作成した後で取消操作を行うと、ソフトウェアがクラッシュする。
  - 削除を実行し、「マイブロック」内の「定数」ブロックの操作を取り消すと、ソフトウェアがクラッシュする。
  - 「1.X 超音波センサー」ブロックを2.0で開けると、ポート番号が間違っている。
  - 「NXT データログ アカデミー」をズームすると、問題が発生する。
  - 組み立て説明書を切り替えると、「アカデミー」のスライド番号が無効となる場合がある。
  - 「データログ」ブロックのポイント間の最小速度が、UIの表示とは異なり、約65秒に制限される。